



HIRAYAMA TIMES

2018年6月期 事業報告書
(2017年7月1日～2018年6月30日)

もくじ

トップメッセージ

特集 平山の挑戦

平山グループの成長を支える
新規事業、人財育成の取り組み

2018年6月期 業績ハイライト
会社情報／株主メモ



IoT技術を積極的に導入し、 製造現場の改善を ワンストップで 提案できる体制を構築します

代表取締役社長
平山 善一

当期の業績

売上高13,593百万円、 営業利益214百万円と 増収増益を達成いたしました

当社グループを取り巻く当期（2018年6月期）の経済環境は、先行きに不透明感が強まったものの、企業の収益では製造業において昨年半ばからの増産が続いており、輸送用機器の回復や、世界的なIT需要から半導体・電子部品等において輸出が急増するなど改善が進み、人手不足感は極めて強くなっております。海外においては、経済活動の世界的上昇はピークを迎えております。

こうした環境下で当社グループは、インソーシング・派遣事業で、輸送用機器、住設関連、食品関連分野からの受注が引き続き堅調に推移し、増収増益を確保いたしました。人材採用環境が厳しい中、効率的な採用と定着に注力した結果、当期の業績は、売上高135億93百万円（前期比16.8%増）、営業利益2億14百万円（同436.1%増）、経常利益2億14百万円（同144.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、消費税等簡易課税差額収入が特別利益として発生し、3億48百万円（同136.8%増）となりました。

2018年6月期の連結業績

売上高

13,593 百万円

営業
利益

214 百万円

親会社株主に
帰属する
当期純利益

348 百万円

次期の見通しと今後の成長戦略

ものづくり支援 オンリーワン企業に向けて 売上高200億円を目指します

次期（2019年6月期）は、経済の回復基調や少子化に伴う労働人口の減少を背景に、有効求人倍率は高止まりし、人手不足が常態化するものと予想しております。

このような市場環境の下、当社グループでは、新たな高付加価値サービスを提供するものづくり支援オンリーワン企業に向けて、新規事業と既存事業の融合による高付加価値サービスの創造、高付加価値人材の育成と多様な人材採用、国内サービスのパッケージ化と海外展開を推進してまいります。

とくに、これまでの製造請負にコンサルティングとIoTを融合させたビジネスモデルの展開、外国籍人材の採用、2018年7月に株式を取得したFUNtoFUN株式会社との協業等に注力し、収益性向上に取り組んでまいります。

これらの取り組みにより次期の業績は、売上高200億円（前期比47.1%増）、営業利益3億円（同39.9%増）、経常利益3億円（同39.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4億円（同14.9%増）を見込んでおります。

平山グループの成長を支える新規事業、

平山グループは、高付加価値サービスを提供するオンリーワン企業を目指し、新規事業や人材育成に注力しています。

新規事業

平山グループは、企業や大学と協業し、積極的に新規事業を展開しています。新規事業では、ものづくりをサポートする支援サービスや人材育成に注力し、独自の高付

日立システムズと協業し、 製造業向け 「現場改善支援サービス」を提供

当社グループの中核会社である株式会社平山は、株式会社日立システムズとの協業により、製造業向けサービスの分野で両社の製品・サービス・ノウハウを組み合わせた「現場改善支援サービス」の提供を開始しております。

本サービスは、平山のコンサルタントが製造現場を調査・分析し、TPS（トヨタ生産方式）に基づく改善策を提供する「現場改善コンサルティングサービス」や熟練スタッフによる製造請負サービスと、日立システムズの「FutureStage 製造業向け生産管理システム」やIoT 関連サービスを組み合わせ提供します。これにより、IoTを活用した設備稼働状況や生産状況の見える化、システムを活用した品質向上と納期短縮化、現場目線での改善案提案からシステム導入、製造請負、さらには継続的な現場改善まで一貫して支援することが可能となります。

今後は、中堅・中小規模の製造業を中心に、2020年度末までに累計約50億円の販売を目指しております。

現場改善コンサル・製造請負	IoT活用	
スキル コスト 品質 スピード	IoTデバイス クラウド SaaS	
コンサルティング	お客様への貢献	IoT
プロセス標準作業の定義と改善の実践	生産効率の改善	システムオペレーションによる効率化
現場定量データに基づいたコンサルティング	モノづくりの高度化	PDCA測定データのお客様への常時提供
コンサルティング手法に基づいた管理方法のご提案	管理業務のアウトソーシング	管理業務のIT化支援
製造業務請負	人材不足解消	システムオペレーター派遣

PDCA高速化により、高品質・短納期・低コストを実現



中国で合弁会社を設立 生産性向上が課題となる 中国市場開拓に取り組む

当社グループは、健峰管理技術研修中心（寧波）有限公司（以下、健峰）と、中華人民共和国で共同出資による『浙江健平連合企業管理コンサルティング有限公司』を設立いたしました。

健峰は、1990年から中国への投資を実施している台湾系企業で、企業へのコンサルティング、人材育成を専門としており、中国政府をはじめ、民間企業約10,000社へのコンサルティング実績があります。

新たに設立した合弁会社は、当社グループの優れたコンサルティング力と、健峰の中国における拠点網と施設、教育力を掛け合わせ、中国に進出している日系製造企業の約6,000社に向けてサービス提供し、中国市場を開拓してまいります。新会社では、日本研修ツアー、経営改善指導、各種教育訓練、IoTシステムの導入等を中国各地で推進し、2020年には売上高2億5千万円、5年後の2022年には売上高4億円を目指してまいります。



浙江健平連合企業管理
コンサルティング有限公司
(中華人民共和国浙江省寧波市)



人財育成の取り組み

加価値サービスの提供につなげています。

ミャンマー・マンダレー工科大学と提携 外国人技術者の育成と 事業拡大を目指す

当社グループの株式会社平山グローバルサポーター（以下、平山GS）は、ミャンマー・マンダレー工科大学（以下、MTU）と提携し、外国人技術者の育成を開始いたしました。

MTUは、高いエンジニア知識・技術をもった学生の教育・育成に大きな功績を残しているものの、ミャンマーの国内産業においてはエンジニア職が少ないことを背景に、就職においてミスマッチを生じていることが大きな課題としてあります。一方、日本国内では、エンジニアを中心とした若い技術者の確保が喫緊の課題となっています。

こうした中、課題を補う解決策として、平山GSでは外国人技術者の育成を開始いたしました。日本語講座を大学に開設するなど、各種インフラの提供を行うとともに、日本語講座とエンジニア学科の成績優秀者については、他国、他校より優先して、日本国への受入れを進め、有能な人材育成に貢献してまいります。



人財育成

高い技術力を持った人財輩出企業としてプロフェッショナル人財の採用と育成に注力しています。

エンジニアを育成するための 実践的な研修が学べる 「技術研修センター」を開設

当社グループの株式会社トップエンジニアリングは、東京都港区に「技術研修センター」を新たに設置し、機械設計・電気電子設計・ソフトウェア開発・生産技術等のエンジニアを育成するための実践的な技術研修施設として活用しています。

技術研修センターでは、当社グループの新卒社員・中途社員への研修を実施しているほか、インターンシップでより多くの学生の受け入れを想定しています。

当社グループは、「ものづくり日本」の開発現場の第一線で多様な開発プロジェクトに多数参加し、最先端の技術を提供しています。研究開発から製品設計、生産技術までの上流工程から生産技術領域を核とする生産領域において、現場で活躍できる、常に高い技術力と信頼と安心を共有できる人財を育成するため、これまで取り組んできた社員教育をより一層充実させてまいります。



セグメント別の状況

インソーシング・派遣事業

インソーシング・派遣事業におきましては、輸送用機器、住設関連、食品関連分野からの受注は引き続き堅調に推移いたしました。

地域的には、前期より西日本エリアを強化してきた成果が現れ、電子部品、自動車関連の大手企業を中心に新規顧客の開拓が進んだことなどから、収益に貢献いたしました。また、主力取引先の取引単価改正も利益改善に寄与いたしました。採用面では、無期雇用化を進めたことから順調に採用が進捗いたしました。

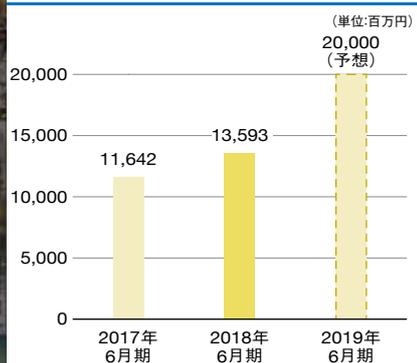
この結果、売上高は10,471百万円(前期比15.5%増)、セグメント利益は1,039百万円(同33.2%増)となりました。

技術者派遣事業・海外事業・その他事業

技術者派遣事業は、輸送機器分野、半導体製造装置分野での需要が堅調に推移しました。新卒採用、海外人材の採用など、人材確保に関し様々なチャネルへの展開を行い、確実に実績が出始めました。海外事業では、主力のタイ国で経済の緩やかな回復が見られ、インソーシング化の提案とともに値上げ交渉を続ける一方、販売管理費の削減を進め利益率の改善に努めました。ベトナム国では、現地視察研修や技術者紹介に取り組みました。その他事業では、現場改善コンサルティング事業で、国内外からの引合いと大手企業からの依頼が急増し、海外スタディーツアーは、マレーシア、中国等からの引合いが続き、好調に推移しました。

この結果、売上高は3,121百万円、セグメント利益は40百万円となりました。

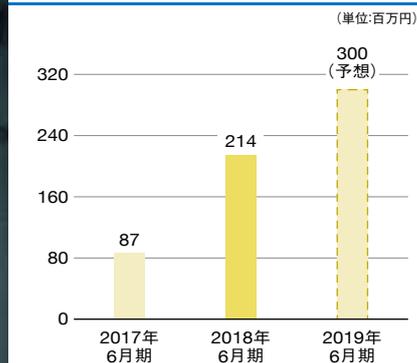
売上高



営業利益



経常利益



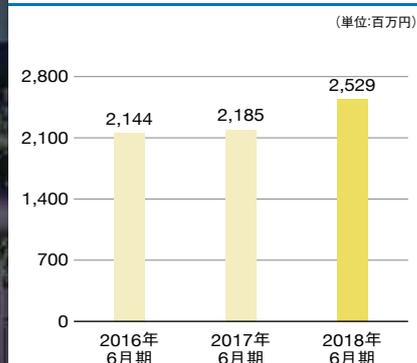
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産



株主還元

利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続という観点から、配当性向は25%を基本方針としております。

2018年6月期
年間配当金
(1株)

50円

2019年6月期
年間配当金
(予想/1株)

58円

第52期定時株主総会 決議ご通知

平成30年9月26日開催の当社第52期定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第52期(平成29年7月1日から平成30年6月30日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。
- 第52期(平成29年7月1日から平成30年6月30日まで)計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき金50円と決定いたしました。

第2号議案 取締役4名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、平山 善一、平山 恵一、小牟礼 義人、村上 伸一の4名が再選され、それぞれ重任いたしました。

第3号議案 監査役4名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、住友 千良、玉野 淳の2名が再選され、それぞれ重任し、高橋 博良、覺正 寛治の2名が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

会社情報／株主メモ

会社情報

2018年6月30日現在

会社概要

商号	株式会社平山ホールディングス
本社所在地	東京都港区港南一丁目8番40号 A-PLACE品川6階
資本金	433百万円
グループ期末人員数	6,136名 (限定正社員及び契約社員を加えた総数／海外含む)
役員 (2018年9月26日現在)	代表取締役社長 平山 善一 (ヒラヤマ ヨシカズ) 専務取締役 平山 恵一 (ヒラヤマ ケイイチ) 取締役(社外) 小牟礼 義人 (コムレ ヨシト) 取締役(社外) 村上 伸一 (ムラカミ シンイチ) 常勤監査役(社外) 高橋 博良 (タカハシ ヒロヨシ) 監査役 住友 千良 (スミモ チヨシ) 監査役(社外) 玉野 淳 (タミノ ジュン) 監査役(社外) 覺正 寛治 (カクショウ カンジ)

株式情報

発行可能株式総数	3,600,000株
発行済株式総数	1,789,400株
株主数	839名

大株主

氏名または名称	所有株式数	持株比率
株式会社スリーアローズ	426千株	24.33%
平山善一	293	16.74%
平山恵一	201	11.50%
ハクトコーポレーション株式会社	127	7.29%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NORTHERN TRUST (GUERNSEY) LIMITED RE GGDP RE: AIF CLIENTS 15.315 PERCENT NON TREATY ACCOUNT	62	3.54%
平山智一	56	3.22%
平山上一	40	2.30%
平山従業員持株会	35	2.03%
有限会社平寛堂	34	1.95%
佐藤 優	30	1.71%

※持株比率は自己株式(38千株)を控除して計算しております。
※所有株式数は百株以下を切り捨てて表示しています。

株主メモ

証券コード	7781	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで	連絡先(郵送先)	東京都府中市日鋼町1-1
定時株主総会	毎年9月開催	および	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 6月30日	電話照会先	0120-232-711(フリーダイヤル)
	期末配当 6月30日		郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
	中間配当 12月31日		三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	公告方法	電子公告により行います。
	三菱UFJ信託銀行株式会社		ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
			公告掲載URL
			http://www.hirayamastaff.co.jp